

TREE seminar

10月6(木) 5206教室 17:00 ~ 18:00

海洋ベントス類のHabitat-connectivityと保全戦略

浜口 昌巳 Masami Hamaguchi

独立行政法人 水産総合研究センター

瀬戸内海区水産研究所生産環境部 環境動態グループ

広島大学大学院生物圏科学研究科

10月6日(木) 5206教室

17:00 ~ 18:00

〔要旨〕

干潟等に生息する海洋ベントス類のほとんどは発生初期に浮遊幼生期を持つので、浮遊幼生を通じてハビタット間の交流が生じる。従って、干潟等沿岸域の生態系保全や自然再生は、この浮遊幼生を通じた交流の範囲や程度を調べ、ソース・シンクの関係を解明した上で実施する必要がある。これには、海域で浮遊幼生の分布他を調べる方法や、高精度遺伝子マーカーによって交流の程度を推測する方法がある。本セミナーでは、海洋ベントス類の代表種であるアサリをモデル生物として、これらの技術開発の経緯や実際の適応例を説明する。